



小金井 2012.8/1 No.412 月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市公民館 小金井市中町4-15-14 TEL042-383-1184

公民館は、
学びたい！
を叶えてくれる私の大学。
いつでも迎えてくれる
私のオアシス

小金井市内 納涼祭・盆踊り特集

小金井盆をご存知でしょうか。一般的には東京盆（7月15日前後）、旧盆（8月15日前後）ですが養蚕農家の多かった小金井市や隣接する地域ではお盆は繁忙期の為、半月ずらして7月31日から8月2日の期間に小金井盆を行っていたそうです。

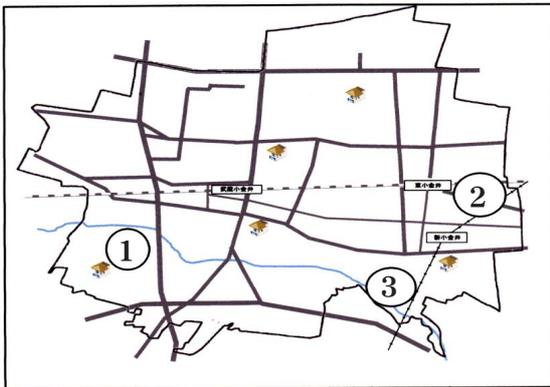
今回の特集では、小金井市内で行われる盆踊りMAPを作成しました。

なお、市内では各所において多数の祭りが開催されますが、今回は公民館に情報を頂きました下記の3つの祭りを掲載いたします。

夏の夜、夕涼みに祭りへ足を運んでみませんか？



◆市内盆踊りMAP◆



① 納涼盆踊り大会



と き 8月4日(土)・5日(日)
場 所 四丁目けやき広場(貫井南町4丁目14番)
※雨天時は、第一日目が雨天の場合翌日から二日間開催し、第二日目が雨天の場合は第一日目で打ち切りとなります。
主催：貫井坂下自治会連合会

② 第40回盆踊り花火大会



と き 8月5日(日)・6日(月)
場 所 日本歯科大グラウンド(東町4丁目44番)
主催：東小金井南口商店会

③ 第38回わんぱく夏まつり

夏の終わりを原っぱでどろんこ・汗だくになって
こどもも大人も思い切り遊びましょう！
プレイパークも同時開催！

と き 8月18日(土)~27日(月)
本まつり25日(土)・26日(日)
場 所 武蔵野公園くじら山と原っぱ、周辺野川にて
問い合わせ 042-304-8339(ひ・ろ・こらぼ内)
主催：第38回わんぱく夏まつり実行委員会

七月に行われた盆踊り



☆盆踊り大会



と き 7月21日(土)・22日(日)
場 所 やまぼと公園(東町2丁目5番)
主催：東町二丁目都営住宅自治会「親和会」

☆前原盆踊り大会

と き 7月21日(土)・22日(日)
場 所 野川緑地公園(前原町3丁目3番)
主催：前原坂下商店会

募集

陶芸入門教室

緑分館



初歩から陶芸の魅力を学んでみませんか。作陶から素焼き、本焼き、窯出しの感動まで味わいます。

とき・内容 下表のとおり

ところ 公民館緑分館

講師 高木信之さん（陶芸家）他

対象 市内在住で全日程に参加できる方
※これまでに本講座を受講したことのない方を優先します。

定員 25人（多数抽選）

費用 5千円（材料費ほか）

申込 8月31日（必着）までに、往復はがきに住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号を明記し、公民館緑分館「陶芸入門係」（〒184-0003 小金井市緑町3-3-2 ☎042-387-7301）へ。

| 回 | 日程 | 時間 | 内容 |
|----|----------|----------------|---------------|
| 1 | 9/19(水) | 午前9:30~11:30 | 講義 |
| 2 | 9/26(水) | 午前9:30~正午 | 作陶（塊作り） |
| 3 | 10/3(水) | | 作陶（板作り） |
| 4 | 10/10(水) | | 作陶（紐作り） |
| 5 | 10/17(水) | | 作陶（塊作り） |
| 6 | 10/24(水) | | 講義 |
| 7 | 10/31(水) | | 窯詰め |
| 8 | 11/7(水) | | 素焼き |
| 9 | 11/14(水) | | 窯出し・掃除・釉掛け |
| 10 | 11/27(火) | | 午後1:00~5:00 |
| 11 | 11/28(水) | 午前9:00~午後5:00 | 本焼き |
| 12 | 12/5(水) | 午後1:00~5:00 | 窯出し・窯掃除・作品鑑賞会 |
| 13 | 12/11(火) | | |
| 14 | 12/12(水) | 午前9:00~午後10:00 | |
| 15 | 12/19(水) | 午後1:00~6:00 | |

募集

市民講座

「北原白秋 余話」

本町分館

大正の文化人「北原白秋」の親族にあたる講師から、知られていない白秋の生涯について学びませんか。

とき 9月6日・13日いずれも木曜日
午前10時~正午（全2回）

ところ 公民館本町分館

講師 北原邦雄さん（名字研究家）

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 30人（申込順）

申込 8月16日から電話または直接、公民館本町分館（☎042-383-1170）へ。



子ども体験講座

「野川の生き物観察」報告

本館

本講座は市内で身近な自然を子どもたち、または、親子で体験していただくために季節に合ったプログラムを講師の方と検討し行っています。



野川はここ数年見違えるほど、水質や景観も改善整備され、子どもたちが安全に遊べる小川になりました。

開催した6月30日の当日は絶好の観察日和となり、講師が川に入り網の使い方を子どもたちにお手本を示してから、子どもや親子でどんな生き物が採れたのか網の中を覗き込む姿が印象的でした。採れた生き物達を水槽に集め、参加者みんなでどんな種類が採れたかを観察します。生き物について講師が説明しますが、子どもたちだけではなく、保護者も“野川にこんなにも生き物が生息しているの”と感心していました。

講座が終わって生き物達はリリースしますが、参加者の中には、家で飼ってみたいと持ち帰る子どももいて、講師にどのように飼えば良いのかを熱心に聞く場面もありました。

次回は9月に野川公園での観察会を予定しています。

サークル紹介 本町分館 「なつかしい曲を歌う会」



歌を歌うことが好き。だけれども本格的にやるには少し気が重いの、今風の歌はじっくりしないなと思う方々の集まりです。

なつかしい曲、思い出の曲、季節の童謡、唱歌などを歌っています。演歌も流行歌もOK。発足してまだ日が浅いので会員は9名、講師は師井和子先生（音楽療法士、臨床心理士）

いつまでも健康で若々しく過ごせるように大きな声で歌を歌い、おしゃべりをして楽しんでいます。楽譜が読めなくとも唄うことの好きな方ならどなたでも大歓迎です。

場所：本町分館学習室 連絡先：吉川（☎042-383-6479）

会費：1回500円 活動日：毎月原則第3日曜日 ♪見学も歓迎しています！

平和特集

無言館～信州上田の小さな美術館

「もう一度 耳をすましてください 若者たちの生命の叫びに」チラシに記された言葉が心に突き刺さります。

正式名称を「戦没画学生慰霊美術館無言館」といいます。窪島誠一郎氏(美術評論家)により信濃デッサン館の分館として1997年に開館されました。第二次世界大戦中、志半ばで戦場に散った画学生たちの残した絵画や作品、イーゼルなどの愛用品を収蔵、展示しています。

各作品には作者の略歴も揭示され、出征の直前まで創作に取り組んでいた様子がうかがえます。それらの数々は絵画や彫刻などへの熱い思いと無念の気持ちを訴えかけ、見る者に深い感動を与えずにはいません。

前記窪島氏の次の言葉は、無言館への誘いととも「生きること」の大切さを私たちに思い知らせてくれる気がします。

「口をつぐめ、眸をあけよ 見えぬものを見、きこぬ声をきくために」

無言館を訪ねて……

東分館自主サークル 木曜日 児玉栄子

5月17日、車で片道、三時間あまりの長野県上田市にある美術館無言館を訪ねました。

そこには、戦争という言葉の切りはなすことの出来ない戦前の画学生たちの遺作と遺品が待っていた。

館内に入ると何とも言えぬ、冷んやりと感ずる。作品一点一点を見ているうちに胸にせまるものがあった。戦場におもむく前に描く事に一生懸命取り組んだ作品だけに、それぞれの絵には、その人のドラマが隠されているのである。

そんな事を思いつつ鑑賞しているうちに何度か前に進めなくなる場面に遭遇した。新しい時代に向かって美術運動のシュールレアリズムに、取り込んだ画学生たち。

戦地に出向く日迄、生きて己の生の証しとしてのこした自画像また、大口マンを感じさせる婦人服のデザイン画、戦場へと向かった画学生たちが、一瞬のうちに消えたようにも思え、悲しみがあふれるのであった。

この無言館は、一年間のうち数か月は雪深い場所となるため、経営難になってるとのこと。

この美術館をいつまでも残してほしいと切に思います。戦争の知らない人たちにも見てほしい。

今回の野外研修は、今迄にはない、大きな意義深い研修でありました。参加した人達が無言館からでてくる顔には深く感じ入った様子がうかがえた。

なかなか行く事の出来ない無言館。今回は東分館館長の強い力添えがあって実現、鑑賞する事が叶えた事を心から感謝しています。有難うございました。



第468回 市民映画会

特集：戦争の証言

8月の市民映画会は、「戦争の証言」特集として、2本の映画を上映します。

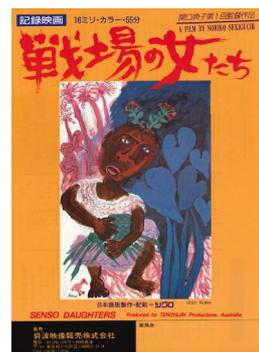
「あの日、この校舎で
～50年前に被爆したナガサキの記憶～」
企画・製作 (株)映像社 岩波映画販売(株)
30分

元気に子どもたちが遊ぶ現在の新興善小学校の映像。しかし半世紀前、大勢の被爆者が救護所に運びこまれていた。…50年前の生々しい体験で問いかけるドキュメント映画。当ライブラリー所蔵映画です。

「戦場の女たち」

製作 関口典子 55分

パプア・ニューギニアに5年間住みついて、記録した関口典子の記念碑的映画。戦争体験の風化が危惧される中、戦争の証言をもう一度追体験する映画をお届けします。



- とき 8月18日(土)
- ところ 本館 視聴覚室
- 上映時間 ① 午前10時30分
② 午後3時30分
いずれも上映は、上記の2映画です。
- 無料 いずれも当日会場にて先着70名。
- 問合先 公民館本館(☎042-383-1184)

◆ 8月の公民館主催事業募集情報 ◆

詳細は市報〇月〇日に募集記事あり。公民館メールアドレス k020499@koganei-shi.jp
ITサポートは、(12日、15日は休み)各館にて毎週水曜日、日曜日の午後1時から午後3時。

| 小金井市公民館 | 公民館本町分館 | 公民館貫井南分館 | 公民館東分館 | 公民館緑分館 |
|---|---|---|---|--|
| 中町4-15-14 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226 | 本町2-15-11 ☎ 042-383-1170 FAX 042-387-1227 | 貫井南町4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228 | 東町1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229 | 緑町3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300 |
|  | ☆スポーツ祭東京2013 PR事業「ゆりーとを 描いて応援しよう！」 市報8月1日号に詳細 ☆市民講座 「北原白秋 余話」 市報8月15日号に詳細 |  |  | ☆陶芸入門教室講座 市報8月15日号に詳細 |

こうみんかん旬菜

～見て・触れて・食べて～

本町分館

菜園教室「夏野菜栽培記」

6月の梅雨の晴れ間、本町分館の菜園教室取材してきました。まさに夏野菜の栽培真っ盛りの畑には、所狭しとたくさんの野菜が育てられています。その数、約15種類！

ジャガイモ・きゅうり・なす・ピーマン・トマト・スイカ・かぼちゃ・モロヘイヤ……このたくさんの野菜の収穫・追肥・土起こし等の作業を、受講生の皆さんは4班に分かれ行っています。開講から2ヶ月経ち、手つきも慣れてきたようでした。

休み時間には、取り立てのキュウリやトマトをおやつにパクリ。この味は別格のようです。



この4月から受講されている森実邦明さんに3ヶ月経った感想を伺いました。

「先生が作業について説明してから始まり、作業中も教えてくれるので、新人にはとてもよいです。理論と実践を兼ね備えているので勉強になります。」

土地は狭いですが、工夫してたくさんの野菜を栽培していることにも感心しておられました。

さて、伺った時期はジャガイモの収穫時期でした。3分の1が収穫されたところで、すでに男爵が57kg、北アカリが17kg という成果が上がっています。残りの北アカリとメークインの収穫が楽しみです！



最後に、企画実行委員の苅込美津代さんからジャガイモのレシピをご紹介します。低カロリーのおやつです。

＜ジャガイモのトリュフ＞

材 料

- ・ スポンジケーキ 100g (18cm ホール約半分)
※切り落としのカステラでもOK
- ・ ジャガイモ 150g
- ・ 砂糖 30g
- ・ ココアパウダー 適量

作 り 方

- ① ジャガイモを茹でて、つぶす。
- ② スポンジケーキ、砂糖を入れてよく混ぜる。
- ③ 一口大の大きさに丸める。
- ④ ココアパウダーにまぶして出来上がり！

編集後記

今年、映画のデジタル化の流れがいよいよ本格化する。映画館で、この波に乗れない館、乗る価値を見いだせない館が幕を閉じようとしている。同時にアナログ映画の配給会社も厳しい状況に直面している。

他方で、35ミリ、16ミリフィルムのデジタル化が進んでいる。だが、すべての映画がデジタル化されるわけではない。グローバル化が進む市場原理の下、採算の合わない作品が取り残されることを危惧する声がある。

市民や志のある監督、気骨のあるスタッフが心血注いで、(時には莫大な私費を投入して!) 作り上げた地域活動の記録や手作り芸術作品が失われること……それは、あまりに淋しい。わIV